

希望を抱き、郷土を誇りに

1月13日、市成人式が市内6カ所で開催され、訪れた新成人は両親や恩師などへ感謝の思いを伝えるとともに成人としての門出を祝い合いました。

毎年、成人式は各会場ごとに新成人が自ら企画立案し開催しています。各会場では、学生時代に撮影した思い出の写真のスライド上映やビデオ上映、学生時代に歌った合唱曲の披露や幼少期に作成したタイムカプセルの開封など、特色ある催しが行われ、式典を盛り上げました。



会場で記念撮影をする新成人ら

子どもの元気の源に

1月18日、恵那市子ども元気プラザの開所式が行われました。この施設は、市の未就園児とその保護者を対象に、ふれあい交流や相談など乳幼児期における子育ての拠点施設として整備されました。式典ではテープカットが行われ、市長は「子どもたちの健全育成の場として、恵那の子どもたちの元気の源となる施設にしたい」とあいさつ。式典終了後には、記念事業として「むすび座による人形劇」が行われ、約100人の親子が人形劇を楽しみました。



夢中になって人形劇を楽しむ親子

お汁粉おいし〜い



おいしそうにお汁粉を食べる園児ら

1月11日、岩村保育園で恵那地区厚生保護女性会の皆さんが鏡開きに合わせお汁粉を作り、園児らに振る舞いました。

同会では、明るい社会作りを進めるため、伝統行事などを通して地域との交流事業を開催しています。例年山岡保育園などでも開催しており、岩村保育園では初めて開催しました。園児らは、温かいお汁粉をおいしそうに食べ、お代わりをする子どももおり、お礼に楽しい歌を披露しました。

恵那の年取りの過ごし方



出来上がったこまで正月遊びを楽しむ子どもたち

1月12日から3日間、市中央図書館で図書館サポーター主催の企画展「恵那のお正月 年取りのごっつお」が開催されました。これは、昔から恵那地域での「年取り」に食べるご馳走「ごっつお」を紹介し、年取りや正月にまつわる言い伝えを子どもたちに知ってもらおうと企画。会場には、年取りや正月の過ごし方などがパネル展示されたほか、もち花づくりや正月の昔話、とろろ汁の作り方、折り紙でのこま作りが行われ、多くの人が訪れました。

スケート場のクリスマス

恵那スケート場で12月23日、クリスマスイベント「クリスタルクリスマス2007」が開催され、高校生以下の滑走料無料のほか、子どもたちなどを対象としたさまざまなイベントが行われました。サブリンクでは、サンタクロースとトナカイが登場し、それに子どもたちを乗せ氷上を滑走するイベントが行われました。また特設ステージでは、恵那高音楽部によるクリスマスにちなんだハンドベル演奏や合唱が披露され、多くの来場者の注目を集めていました。



子どもを乗せ氷上を滑走するそり

手作りのたこが空に舞う

1月6日、明智町の吉田小学校運動場でPTA主催のたこ揚げ大会が開催され、約70人の親子が参加しました。大会は、PTAの研修委員会が初めて企画。12月にはたこ作り教室を開催し、地域や家庭で冬休みなどを利用してたこを作りました。大会には、個人の部に18、地域の部に7地域11のたこが参加。工夫を凝らした四角やひし形、洋風の横に長いたこなどが参加し、中でも11人の児童が一人ずつ絵を描いた11連のたこが注目を集めました。



注目を集めた11連たこを協力して揚げる参加者ら

歯磨きしっかりできるかな



保育園児に歯磨きを指導する小学生児童

12月20日、上矢作小学校の児童23人が上矢作保育園に出向き、園児らに歯磨き指導を行いました。

これは同校が歯の健康維持に力を入れていることと、小学校と保育園が連携し子ども同士のつながりを持つよう行われています。小学生のお兄さんお姉さんらは、ゆっくりと丁寧に歯磨き指導を行い、園児らも一生懸命に歯磨きに取り組みました。熱心な指導で園児らは上手に歯を磨くことができ、うれしそうに白い歯を見せていました。

生徒とお年寄りの茶話会



生徒たちと「ぼうずめくり」を楽しむお年寄り

12月21日、串原コミュニティセンターで串原中学校の全校生徒16人が、地域のお年寄り約20人と茶話会を開きました。同校では毎年、季節の便りや年賀状を定期的に送っており、年2回、学校などで「ふれあい交流」を行っています。今回は、合唱披露や「ぼうずめくり」などで楽しんだ後、生徒が育てたサツマイモをふかして一緒に味わいました。参加者は「みんな元気で素直ないい子たちばかり。また呼んでくだされば参加したい」と、喜んでいました。

中山道広重美術館
展覧会

会期
4/6(日)まで

開館時間 午前9時半
～午後5時 入館は午後4
時半まで)

観覧料 ▷大人=500円
(団体400円) ▷小・中・高
校生=300円(団体240円)

毎週月曜日(祝日を除く)
祝日の翌日(土日・祝日を除
く)休館。2/4(月)～6(水)、3/
3(月)～5(水)は展示替えのため
休館します。

問い合わせ 中山道広
重美術館☎20-0522

「所蔵名品展」 - 明治・大正・昭和の作品を中心に -



荒木寛畝^{あらかんぼ}「波間孟鷲図」^{はかんちゆうず}
絹本着色 一幅

1911(明治44)年

荒々しい波が打ち寄せる岩の上に、鋭いつめを立て翼を広げるワシ。

ワシは羽、1枚1枚が克明に描かれています。洋風の写実を加味したワシの表現がみられる一方で、岩や波には写生的な表現と装飾的な表現が交じり合い、日中諸画派の伝統的画法を折衷したような画風がみられます。

荒木寛畝という作家は、日本画家として名声を上げていました。しかし、その当時日本に紹介された洋画の迫真的な描写に驚き、自身もそれを描いてみたい思いに駆られ、いったん洋画家に転身。後に再び日本画に復帰し、画壇の重鎮として生涯を終えた異色の経歴を持ち、多彩な表現方法を試みた人物です。

この作品は、平成15年に市へ寄贈されました。

2/7(木)～3/2(日)まで展示

* 1画壇の重鎮 = 画家界で重要な位置を占める者

一般滑走は2月12日(火)まで

アイススケートシーズン終了

今シーズンも大好評をいただきました恵那スケート場が、2月17日(日)をもってアイススケートシーズンを終了します。2月13日(水)～17日(日)は、2008ジュニアスピードスケートカントリーマッチ国際競技大会の公式練習および大会のため、一般滑走は2月12日(火)までとなっています。今シーズンの滑り納めに、ぜひ、お早めにお越しください。



なお2月19日(火)～21日(木)は館内清掃・点検作業のため休館します。2月22日(金)以降は会議室、トレーニングルームがご利用いただけます。

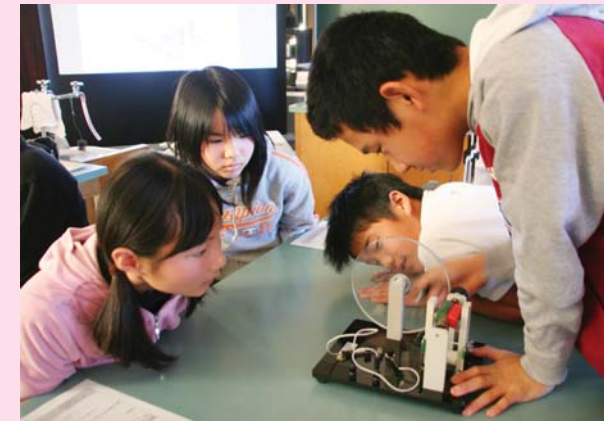
営業時間 午前8時半～午後8時半(午後8時受付終了) 期間中は休まず営業

問い合わせ 恵那スケート場☎28-3390

電気はどうやって作るの

1月25日、東野小学校6年生の17人を対象に電気の授業として、電力会社の社員による出前講座が行われました。これは、同校の6年生が理科の授業で電気について学んでおり、専門家の話を聞き理解を深めてもらおうと実施されたものです。

授業では磁石とコイルで電気を作り出し、豆電球をともし実験などを行い、電気の仕組みを学びました。児童らは熱心に実験に取り組み、電球が点灯すると「ついた」と言って喜んでいました。



熱心に実験に取り組む児童ら

残したい明知鉄道



感謝と親しみを持つ通称「あけてつ」を語る生徒

1月20日、明智文化センターで明知鉄道シンポジウムが開催され、沿線住民など約230人が参加しました。基調講演では、須田寛東海旅客鉄道株式会社相談役が「人が集まる駅、魅力ある鉄道にするためには、地元住民全員のボランティア意識が必要」と話し、来場者はうなずきながら真剣に聞き入りました。また恵那南高校や阿木高校、老人クラブ、恵南商工会青年部から明知鉄道への思いと活動が発表され、明知鉄道の存続について考えました。

昔ながらの木綿豆腐

1月25日、岩邑中学校の総合的な学習の時間「温故知新」の活動「岩村の味」コースの中で、昔ながらのにがりを使った豆腐作りを行いました。

豆腐作りは初めてという1～3年生の生徒23人が、地元産の大豆を使って木綿豆腐作りに挑戦。味ややわらかさを左右すると言われる豆乳のにがり混ぜる工程では、かき混ぜ過ぎないよう慎重に作業を進めていました。出来上がった豆腐は、調味料を使用せず、豆腐本来の風味を味わいました。



豆乳のにがり混ぜた「豆腐のもと」を粹へ入れる生徒

安心・安全な食材で給食を



お母さんとおいしそうに給食を食べる子ども

1月24日と25日、市学校給食センターで学校給食フェアが開催され、2日間で59人が参加しました。会場では調理場の見学のほか、1週間分の給食の献立とサンプル、衛生管理の説明、残った給食のリサイクル方法などが展示され、参加者は興味深く見ていました。また林栄養士から「子どもたちの健康のために『地産池消』を心掛け、できるだけ地元産の食材を使用しています」と説明を受け、安全で安心の食材で作られた給食をじっくりと味わいました。